

今月の生活目標

- 交通安全を心がけよう
- 時間を守ろう

完全下校時刻：18時00分(10/13～)

思いやりのある言動で仲間を大切にしよう！

平成21年度の体育祭は、短い練習期間の中、生徒の活躍と頑張りにより大成功に終わりました。休日ということもあり、多くの保護者の皆様方に加えて植松小学校の児童などたくさんの観客の中での体育祭は昨年以上の盛り上がりと充実感に満ち溢れていました。多くのご声援ありがとうございました。

今、生徒達は、次の目標である10月7日からの部活動新人戦と11月7日の文化祭にと新たな挑戦に向けて頑張っています。

例年、10月の生徒の様子を見ると、忙しい中で自分の行動や気持ちがコントロールできず、イライラしたり物に当たったりしてトラブルを起こしたりする生徒が出てきます。落ち着きを欠いたり、学習全般や人間関係に悩んだりする時期でもあります。そこで、今月は「思いやりのある言動で仲間を大切にしよう！」を重点として以下のことをしっかりと指導したいと思いますので、ご家庭でも折にふれてお話しくださいますようよろしくお願い致します。

不審者に注意

例年、この時期から不審者の出没情報が増加してきます。そこで不審者対策について再確認したいと思います。

不審者対策再確認

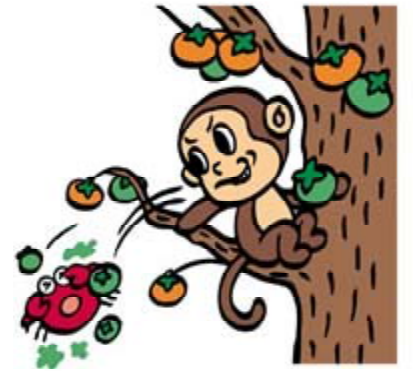
- ★ 登下校はできるだけ複数で。
- ★ 知らない人には絶対について行かない。
- ★ もし危険を感じたら大きな声で助けを呼ぶ。
- ★ 危険を感じたら、素早く逃げる。
- ★ 近くの家に駆け込む。

- ◎ 事件・事故に遭わないように気を引き締め行動しましょう。
- ◎ 1, 2年生は部活が終了して帰る頃は暗くなっています。ライトをつけ交通マナーを守って下校しましょう。
- ※ 何か情報がありましたら、学校にご一報ください。



さるかに合戦

昔、昔。猿が柿の種を拾い、かにかがおむすびを拾った。猿はおむすびが食べたくてならない。そこで、かんに、おむすびは食べてしまえばそれきりだが柿の種は埋めておくと木になって、美味い柿がどっさりなるから取り換えないか・・・と提案した。かには、それなら取り換えようと交換し、柿の種を持ち帰って庭に埋めた。そして「はよう 芽を出せ、柿の種。出さんとはさみでほじくるぞ。」と言いながら、水や肥やしをやって育てた。柿の種はほじくられては大変と、慌てて小さな芽を出した。かには喜んで「はよう 木になれ、柿の芽。ならんとはさみでちょん切るぞ。」と歌って世話をしたので、柿の芽はちょん切られては大変と、ぐんぐん大きくなった。



かには喜んで「はよう 実がなれ、柿の木。ならんとはさみでぶった切るぞ。」と歌ったので、柿の木は、ぶった切られては大変と慌てて枝に実を付けた。かには嬉しくてたまらず、夢中で木によじ登ろうとしたが、かにかの横這いではしっかり幹につかまる事も出来ず、這い登っては落っこちていた。そこへ、猿がやって来て、「おらがもいでやろう。」と木に登るが早いか、赤く熟れた柿の実をむしゃむしゃと食べ始めた。かにはたまらなくなり、猿に柿の実をよこせと叫んだが、猿はまだ固い青柿を引きちぎり、かにかにめがけて投げ付けた。柿が甲羅に当たってぺしゃりとつぶれてしまった。かにかの腹からじゅくじゅくと子がにかが沢山生まれて来たが、こんな風な有り様なので皆で泣いていた。子がにかが泣いているのを聞き付けてくまんばちがやって来て、何で泣いているのか聞いた。「山のさるめに母さんがにかがつぶされた。泣かずにゃおれん。」と、泣いて答えた。そこへ栗が来て同じやり取りがあり、牛の糞が来て、また同じ事を聞き、同じ返事をしたが、その時はもう泣いてはいなかった。

こうして、子がにかの中でも一番大きい兄の子がにかに「こうしてはおれん。さあ、兄弟。猿の所へ仇討ちに行くべ。」それを聞いた、くまんばちと栗と牛の糞は「ようし、おら達も手助けすっど。」と声を揃えて言い、そこへ、でんでんと地響きをさせて「おらも手助けすっど。」と石臼がやって来た。そして、皆で猿の所へ繰り出した。猿の家に着くと、猿はおらずに囲炉裏の火だけがとろとろと燃えていたので、皆、それぞれの役を決めた。栗は囲炉裏の火の傍に潜り込み、くまんばちは味噌桶の中に隠れ、かにかには水桶の中へぞろぞろ入り込み、牛の糞は土間の入り口にべたりと座った。そして、石臼は屋根に登って控えた。日暮れ方、猿は「ああ、冷たい。ああ、冷たい。」等と言いながら帰って来て、囲炉裏の傍にしゃがみこんで尻をあぶろうとした。途端に、栗が跳ねて猿の尻に飛びついた。猿は、あちちと尻を押さえて跳ね回り、火傷に味噌を付けようと味噌桶の蓋を取ると、今度はくまんばちが猿の肩をずぶんと刺した。猿は、傷を水で冷やそうと水桶の所に跳んで行くと、待ち構えていたかにかに達ががしゃがしゃと出て来て、猿の身体に取り付いた。猿は、川に逃げて行こうと表へ駆け出したが、表で座っていた牛の糞に滑って転び、「いててて。」と起き上がろうとした所を屋根から石臼が転げ落ちてどしんと乗った。猿は、平たくのびてしまった。

【教訓】

今回も、このお話がみんなに何を伝えたかったのか考えてみましょう。